

第一部の水防訓練では、消防団による各種水防工法や住民参加による土のう作り、第二部の救出・救護訓練では、県警本部、自衛隊、消防本部、日本赤十字社等の連携により、ボートやヘリコプターでの救出・応急手当等の訓練が行われました。

本会からは、宇都宮支部を中心に20名の方々が参加し、大型土のう作りを実施するとともに、本会ブースにおいては「道路河川等管理情報システム」による情報伝達等のデモンストレーションが行われました。



県民を守るため全力で取り組む栃木県建設業協会



訓練状況を放映するオーロラビジョン



本番を想定したヘリコプターでの救出訓練



大型土のうを製造する宇都宮支部



栃木県建設業協会が開発した「道路河川等管理情報システム」の説明を受ける参加者